

農報

術・資材などの
けします。

花卉



あわ栽培について



花卉

中原 英幸
下島営農指導センター
080-1729-1629

J Aあまくさ管内で、夏場の品目として出荷されています。

見た目は猫じゃらしが巨大化したような感じで、緑色の清涼感のある品目です。

市場へは夏場の商材として取引しています。

栽培的にはさほど難しくありません。

直売所ではなく市場向けの出荷としての品目です。

作型/月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
5月出荷												
6月出荷												
7月出荷												
8月出荷												
9月出荷												

<品種>

種苗会社：福花園 1d1詰

1袋/約24,000粒

①極早生大房あわ（早出しから遅出しまで可能）（約2a分程度）

②紅くじゃく（穂が赤く染まる）

③八ツ房あわ（花穂の先端が分かれる珍しい品種）

※J Aあまくさでは、①の品種が100%出荷で他品種は栽培も出荷もありません。

<適地性>

日当たり、風通しが良く、排水良好な圃場が適します。

<元肥>

堆肥を1a当り土作りに200kg投入します。基肥は窒素、リン酸、加里を各成分で1a当り約0.8~1.4kg程度施用します。

<定植及び管理>

畝幅75~80cmに株間15cm、条間15cmの4条で直播します。播種量は1ヶ所に5粒播きとし、播種後、軽く覆土します。覆土後は十分灌水します。

フラワーネットは1段とし、15cmの5つ目とします。フラワーネットの目に播種するかたちとなります。

中央の目は灌水チューブを設置します。

発芽まで4~7日かかりますので、発芽するまで土壌が乾かないよう管理します。

発芽後は土壌が乾いたら灌水します。

ある程度、芽が大きくなったら3本仕立てになるよう間引きします。

密植しすぎると茎が細くなり、ボリューム不足の原因となるので注意します。

<病虫害>

病気についてはさほどありませんが、夏場の栽培ですので害虫の防除は定期的な早めに行います。

<栽培注意点>

密植栽培はボリューム不足となりますので密植栽培は避けてください。

灌水不足は草丈が短くなるので十分灌水ください。

<規格>

	階級	草丈	1ヶ所当り重量(kg)	結束	箱詰本数	花	茎	草姿	病虫害
等級	2L	90cm	4kg以上	10本	100本	切り前適正なもの	曲がりがないもの	バランス良い好でボリュームあるもの	認めないもの
	L	80cm	3kg以上	10本	100本				
	M	70cm	2kg以上	10本	100本				
	S	60cm	1kg以上	10本	100本				
収穫	切り前は 穂の長さが7cm程度。								
調整	下葉は除去は全体の1/3の葉を取り除く。葉の長さは、10cm程度に切りそろえる。穂部分の葉は、穂が半分以上見えるように切り揃える。								
選別	出荷規格に従って良心的な選別に努める。規格とおりでない場合、等階級格下げとする。								
結束	よく揃ったものを10本選び、穂の先端部分をそろえる。								
水揚	しおれないように水揚げを行う。								

※わからない点がありましたら、上下営農センター花卉担当までご連絡ください。

野菜



シントウ・甘長とうがらし栽培



野菜

山下 伸一
下島営農指導センター
080-1729-1630

露地栽培

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
シントウ	△							
甘長とうがらし	△							

定植：△ 収穫：■

定植

1. 植穴は、苗鉢よりもやや大きめにし、50~70cm間隔であける。

2. 定植苗は、第一果房が開花する3~4日目の若苗を定植する。

3. 定植時には、アブラムシ・スリップス対策としてスタークル粒剤を1株当たり1~2g植穴処理する。

4. 定植を行う際は、鉢土の上2cm位が見える程度浅植にする。

※植え付けが深いと白絹病や疫病の原因となる。

5. 定植後、初期生育促進の為に、株元に液肥灌水する。

6. 定植後、直ちに支柱に誘引する。

定植後の管理

1. 定植後7~10日頃までは、鉢土が乾燥しないように株元に灌水し、根の活着を促す。

- 活着後は、徐々に灌水量を減らし、根を深く張らせる。
- 第一分枝以下の果実・脇芽は、早めに取り除く。
- 定植後20日前後までに、本支柱及びネット張り（2m間隔）を行う。

整枝・誘引

- 整枝は、出来るだけ中心に光線が入るように摘芯する。
- ネット張りは、樹の生育に合わせて行う。高くなった場合は、2段目を張る。

施肥量

	シントウ 10a 当り /kg			甘長とうがらし 10a 当り /kg			
必要成分量	N	P	K	必要成分量	N	P	K
元肥	30	25	30	元肥	15	20	15
追肥	10	10	10	追肥	15	15	15
合計	40	35	40	合計	30	35	30

詳しいことは各地域の担当者、又は栽培講習会等でお聞き下さい。

水稻



平成 28 年産早期水稻について



水稻
吉田 義文
指導販売部
0969-22-1105

いよいよ平成 28 年産の早期水稻も始まります。異常気象を受けにくい稲を作るには、まず健康な稲を作ること、健康な稲を作るには適正な育苗管理と適正な水管理を行うこと、そして土作りです。

また、昔から「苗半作」と言われています。早期水稻の場合、気温が低い厳しい条件下での田植えですので、苗の良否が初期生育に大きく影響します。品質の良い米づくりのために、健苗の育成に努めましょう。

本田の準備については堆肥や土壌改良資材の投入と、作土を 15cm 以上確保するよう心掛けて下さい。

育苗施設の点検・準備

約 1 ヶ月間の育苗期間となります。春一番等、突風被害が毎年見受けられますのでハウス資材の点検と修繕は早いうちに行いましょう。

健苗の育成

種子は充実した、健全なものを使いましょう。そのためには必ず種子選（比重選）を行って下さい。（比重 水 10 リットルに塩 2 kg）

病害虫防除のために種子消毒と育苗箱の洗浄を行いま

しょう。種子消毒に使用した消毒液は河川や用水路に流さないようにしてください。

早期水稻の育苗日数は 25 日程度ですので、田植え日から逆算して播種日を決めましょう。2 葉苗～2.5 葉苗の場合の播種量は乾粃で 150 g（催芽粃では 180g）が規準となります。

播種に最も適しているのは、ハト胸状態の時です。そのためには十分に浸種を行って下さい。

また、水の入れ替えと、1 日 1 回は攪拌して水温が均一になるようにしましょう。

水田の準備（※元肥の施肥量の変更について）

近年、主食用米の購買者より他の産地と比較して全体的に痩せ米が多いとの指摘があります。その為、本年より元肥の施肥量を 40kg から 50kg へ変更し、穂肥を 20kg から 15kg へ削減致しました。効果としては、初期育成の促進及び地力の向上を促しますので、実施の程宜しくお願い致します。

営情

作物・営農・技術情報をお届け

果樹



2月柑橘園管理



果樹
木蜜 栄次
上島営農指導センター
080-1759-0088

1. 樹勢回復対策

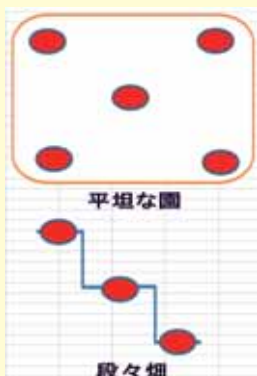
収穫が終了した品種では H 28 年産の生産に備え、チッ素主体の葉面散布を短期間で行い樹勢回復に努めましょう。

薬剤名	希釈倍数	備考
尿素・アミノジューシー N14	500 倍	収穫後 3 回以上集
神協スピリッツ	500 倍	中散布を行う

2. 土壌改良・施肥設計計画（土壌分析の実施）

昔に比べみかんの品質が悪い・収量が落ちた等の症状は出ていないでしょうか？

良い作物作りはまず健全な土づくりが第一歩です！ JA では土壌分析を行い園地の状況に沿った施肥設計を行っています。土壌分析を積極的に活用し、高品質果実生産を行いましょう！！



土壌分析時の土の取り方
平坦な園地では●で示した 5 か所から土を採ります。また、段々畑の場合は、各段の真ん中付近の土を採ります。その際表層から 5 cm 下の土を取り除き、その下の土を 15cm 程度垂直にとります。その後陰干しを行い良く乾燥させます。（石などはこの時に除いて下さい）
乾燥が終わりましたら 500 g 以上土を袋に入れ、JA にお持ち込み下さい。
※分析料として、1 サンプル当たり 3,000 円必要です。

○土づくり

春先の表層根の発生をよりスムーズにするため、堆肥などを投入し、健全な土作りを行いましょう。

時期	資材名	10a 当たり	備考
2～3月 (収穫後)	堆肥	2,000 kg	完熟物
	客土	4,000 kg	3cm 以内
	ヤシガラ	20 袋以上	2 キュービック (120 ℓ / 11kg)
	土の恵み	12 袋以上	ペレットタイプ

○施肥

時期	資材名	対象品種	10a 当たり	備考
2月上旬	炭酸苦土石灰	全品種	10 袋	超省力化タイプ (年 1 回施肥)
	新有機中晩柑一発	清見・河内晩柑・甘夏パール柑・デコポン	10 袋	

3. 剪定について

平成 28 年産につきましては県内全域、成りこみが多い年でした。柑橘ではその年に多く果実が成りすぎると翌年は着花量が減少し、結果的に収量が落ちる傾向にあります。成りが多かった園では、剪定は間引き主体のせん定で軽めに行うようにして下さい。

また園地内が密植で縮間伐が必要な園では、まず縮間伐を行いましょう。

デコポンでは、花が少ないと思われる園地については、花を確認した後剪定を行いましょう。